

ここでは役場で行っている環境マネジメントシステムの内容や取り組みについて紹介します。
今回は、5月に福井県勝山市で開催された第20回環境自治体会議かつやま会議等についてお知らせいたします。



第20回環境自治体会議かつやま会議(開催期間5月25日～27日)に小林町長と職員が出席しました。

勝山市民会館で開催された会議には環境自治体会議会員自治体の首長や職員及び一般の方など全国の市町村からの参加がありました。

会議前段において、小林町長が環境自治体会議共同代表として挨拶をしました。

●会議終了後に開かれた平成24年度環境自治体会議総会において協議されました議事について報告いたします。

・環境自治体会議の第2次共通目標(数値目標)について

環境自治体会議会員自治体全体としての数値目標を検討しています。

10年後に下記の10項目の共通目標において数値目標の達成をめざすものです。

- ① 市内環境配慮(事務事業からの温室効果ガス排出量20%減)
- ② エネルギー(化石燃料由来のエネルギー消費量一人あたり25%減)
- ③ 交通(一人あたり自動車CO2排出量25%削減)
- ④ 水環境(生活排水処理率95%)
- ⑤ 生物環境(地域を代表する動植物維持・増加)
- ⑥ 廃棄物・資源循環(一人一日あたりのごみ排出量5%減)
- ⑦ 地域資源活用型まちづくり(地域資源の倍増)
- ⑧ 環境行政(エコマネジメントシステムの導入)
- ⑨ 環境学習(環境学習の受講者を人口と同数にする)
- ⑩ 地域協働(パートナーシップで実施する事業数倍増)

(※数値内容詳細については検討中です)

・環境自治体会議災害支援協定について

会員自治体のうち30市町が協定への参加に同意している、全国規模での災害支援体制づくりです。

総会において締結され、去る6月6日には東京において災害支援協定調印式、首長意見交換会・幹事会が開催され小林町長が代表幹事として出席しました。

・小林町長が代表幹事に就任

総会後の幹事会により小林町長が環境自治体会議の代表幹事に就任しました。

●今夏の電力需給対策について

電力需給のひっ迫が見込まれることから、北海道電力管内においては7月23日から9月14日を節電期間とする対策が示されました。

役場庁舎等においても節電目標 22年度比7%減を目指して取り組んでいきます。

●環境マネジメントシステムについて

7月運用から第1ステージ第3ステップの取り組みとともに第2ステージ第1ステップの3項目も取り組みます。

